

○友平榮/壬生藩士・兵学者

→幕府代官・江川英龍主宰(葦山塾)  
四天王の一人、品川台場の築造



○松本五郎兵衛/壬生藩士・剣術家

→江戸三大道場(練兵館)  
初期の高弟、長州の高杉晋作と試合



○齋藤留蔵/壬生藩士・兵学者

→16歳で幕府軍艦(咸臨丸)に乗り渡米  
勝海舟・福沢諭吉・ジョン万次郎等と乗船



○野原正一郎/壬生藩士・剣術家

→江戸三大道場(練兵館)の  
塾頭、長州の桂小五郎と試合

○河内全節/壬生藩医・漢方医

→浅田宗伯主宰(漢方医の六賢人)  
の一人、明治天皇の主治医

○鳥居忠英/壬生藩主

→幕府の要職・若年寄、県内最古の藩校  
(学習館)を開設、特産品の「かんぴょう」の奨励

○鳥居忠挙/壬生藩主

→幕府の要職・若年寄、県内初の(蘭学)導入、  
人材の登用と育成を奨励

○齋藤玄昌/壬生藩医・蘭方医

→関東諸藩初の人体解剖、県内初の  
種痘実施、二宮金次郎の主治医

○太田信義/壬生藩士・製菓者

→コマーシャルで有名な「太田胃散」の創業者



○鳥居忱/壬生藩士・音楽家

→国歌「君が代」の制定に関わる  
初代東京音楽学校教授、滝廉太郎と不朽  
の名曲(箱根八里)を創作

○20代木村庄之助/壬生町下稻葉出身・立行司

→古今随一の名行司、ただ一人の(松翁)を授与

○高久空木/壬生町下稻葉出身・染色家

→日展審査員・日展会員、脱退後、染帯の  
名手と呼ばれ「帯の空木」と絶賛



○北原武夫/壬生町出身・小説家

→小説「妻」で第8回芥川賞候補、  
妻宇野千代と日本初のファッション誌『スタイル』を発行

○守田兵蔵/壬生藩士・起業家

→聖地「日光」に産業と文化で街おこし、  
日光ブランドの開発、県内初の美術館(鍾美術館)

○林久次郎/壬生町出身・外交官

→ブラジル大使、外務省の同期生に外務大臣  
広田弘毅、首相・吉田茂がいる。

○鳥居居文/壬生藩知事・外交官

→県内旧大名でただ一人岩倉使節団に参加  
初代ハワイ領事、貴族院議員

□歴史については・壬生町歴史民俗資料館 0282-82-8544  
壬生町総務部総合政策課情報広報係 TEL0282-81-1814 2018年12月

みぶの歴史人物編



壬生にはすごい  
人物がたくさん  
いたんだね!



ふむふむ



慈覚大師 円仁



794年  
～ 864年

下野国都賀郡に壬生氏の子として誕生。  
最澄の下で修行し、唐(現在の中国)に渡り  
仏教を学びました。帰国後に唐の様子を記  
した「入唐求法巡礼記」は、三蔵法師の  
「大唐西域記」、マルコ・ポーロの「東方見  
聞録」とともに、アジアの三大旅行記の1つ  
とも言われています。  
また、任命により比叡山延暦寺の第3代の  
座主となった円仁は、天台宗の大成に努  
めました。  
没後、生前の功績をたたえ「慈覚大師」と  
いう大師号が贈られました。  
※座主:位が一番高い僧侶

円仁ゆかりのお寺である壬生寺の境内には、「産湯の井戸」があり、  
円仁が誕生した際に産湯として使ったと言われています。  
壬生寺保育園の園児や円仁太鼓保存会の方々による「円仁太鼓」  
は、とても躍動感があり見る人々を魅了します。

みぶまち瓦版  
歴史もすごかんべ!  
歴史編

みぶの歴史古墳編

○富士山古墳(県史跡)

平成5年度に学術調査が行われ、  
栃木県で初めて埴輪の並べ方が判  
明した古墳です。  
因みに円筒埴輪は高さが  
110cm、重さが約30kgあり、  
約600本の埴輪が並んで  
いたと推測されます。

○茶臼山古墳(国史跡)

山のてっぺんに造られた石で  
覆われた古墳。  
前方後円形をした古墳には三  
重に巨大な円筒埴輪が並べ  
られていました。  
円筒埴輪の高さは推定で約  
20cmあり、関東地区最大の大  
きさです。



○国内最大級の家形埴輪

この古墳から、高さ168cm、重量110kgの大きな家の形  
をした埴輪が出土しています。因みに最大の家形埴輪は  
大阪府高槻市の「今城塚古墳」から170cmの埴輪が出土  
しています。2cm抜かれました。



○車塚古墳(国史跡)

古墳時代の終わり頃に造られた  
古墳としては、国内で最も大きい  
と言われています。  
古墳は円墳と言われる丸い形をし、  
直径が84mもあります。  
最近、埴輪の代わりに並べられた  
甕が出土し、話題を集めました。



○吾妻古墳(国史跡)

県内最大の古墳。古墳の形は前方後円墳という  
形で、塚の長さは128mもあります。  
最近の調査で石室に使われている石が巨大な  
自然石の一枚石を使っていることが判り、古墳に  
眠る人物の権力の大きさを物語っています。



○吾妻古墳石室の部材(県指定文化財)

平成26年度、壬生城址公園内に移設された  
凝灰岩の玄門石と巨大な自然石の一枚石  
からなる天井石は、栃木県の有形文化財  
の指定を受けました。



○桃花原古墳

県内で初めて石室前面に造られた祭りの場が、  
完全な形で発見された古墳です。  
祭りの場は、形をそらえた川原石で造られており、  
雨にぬれた川原石は宝石のような色に変化し、  
幻想的な空間を造りだしています。残念ながら、  
今は保存のために埋め戻されています。

